環境経営レポート

（対象期間：２０２４年度　２０２３年１１月～２０２４年１０月）

エコアクション21
認証番号 0006707

Metalworking Solution
MUTSUMI 睦工業株式会社

作成日：２０２５年１月１５日

◆　事業所の概要

（１）会社名及び代表者

睦工業株式会社

代表取締役　吉江　真一

（２）所在地

〒581-0016　大阪府八尾市八尾木北２丁目２８番地

Tel 072-993-6035　Fax 072-922-5585

Home Page：http://www.mtmk.co.jp

（３）環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者　　吉江　真一

連絡先　072-993-6035　Fax 072-922-5585

E-mail　s-yoshie@mtmk.co.jp

（４）事業規模

資本金	1,000 万円
社員数	18 名
社屋床面積	733 ㎡

（５）事業内容

フォークリフト油圧バルブの製造

（６）その他

フォークリフト向け油圧バルブを主体に、フォークリフト車両部品、精密機械部品の機械加工・組立まで行います。

（７）事業年度

11 月～翌年 10 月

◆ 認証・登録の対象範囲

全社・全活動を対象とする（本社を含み１サイト）

睦工業株式会社

環境経営方針

環境経営の基本理念

弊社で事業の主体としている機械製品製作・機械加工の環境負荷低減を図りながら、世界環境に益し、人を始め生物の生活を潤す製品づくりを目指します。経営における課題とチャンスを踏まえて、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

基本方針

1. 具体的に下記取り組みを行います。
   - ① 電力・燃料等エネルギーの消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
   - ② 廃棄物削減の推進
   - ③ 水資源の節水
   - ④ ３Ｓ励行による原材料の省資源化
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守致します。
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
4. 化学物質の管理に努めます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。
7. IT活用による最新工作機械の効率的な運用により環境に配慮した生産活動を行う。

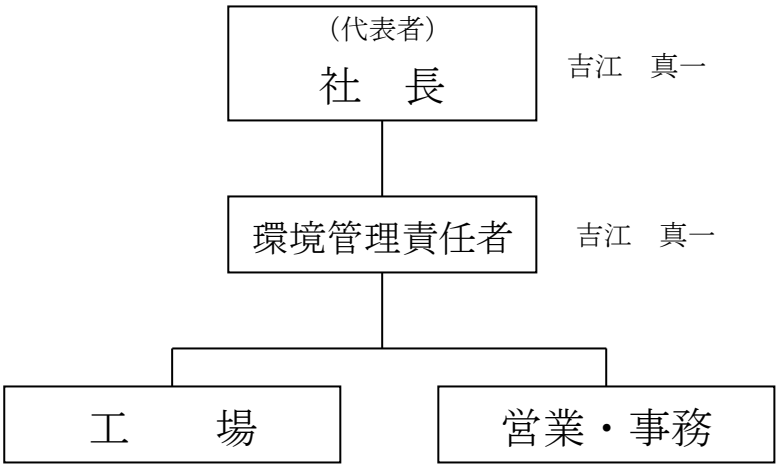
改定　２０２４年３月１５日

代表取締役

吉江　真一

◆環境経営目標の責任体制・実施体制

(1) エコアクション２１取り組み推進体制図



（2）責任と権限

役職	責任・権限	
代表者（社長）	1	環境管理責任者の任命
	2	環境経営方針の制定
	3	経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備
	4	環境経営システムの定期的見直しの実施
	5	社内情報の外部公開可否の決定
環境管理責任者	1	環境経営システムの確立、実施及び維持するための処置
	2	社長に対し、環境経営システムの実施報告
	3	環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者
	4	全員参画による EA21 の運営改善を推進
	5	EA21 関連文書の作成、改廃、保管、伝達の業務を推進
工場	1	使用電力の削減
	2	水使用量の削減
	3	有害化学物質の使用削減検討
	4	製品に関する環境配慮（歩留向上・在庫削減など）
営業・事務	1	自動車燃料の削減
	2	一般廃棄物の削減（紙使用量の削減、リサイクル推進など）
	3	グリーン購入の推進
・環境管理責任者は代表者から環境取り組みに関する権限を委譲され EA21 の推進に責任を持ち、EA21 の要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実施し、管理する。		
・各部の担当者は、自らが組織の中でどのような役割を担っているかを確認し、環境管理責任者の指導のもとに行動する。		

◆ 過去の実績

当社の過去４年間の実績は以下の通りです。　（期：１１月～１０月）

年間総量		2020年度 ６６期	2021年度 ６７期	2022年度 ６８期	2023年度 ６９期
二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	102,133	110,161	112,127	82,319
一般廃棄物排出量削減	kg	486	496	750	876
水使用量削減	m^3	312	343	215	214
化学物質削減	kg	0	0	0	0
生産工程の環境配慮	%	在庫現状維持	在庫現状維持	在庫現状維持	３％増加

※　購入電力の排出係数

66 期以降 0.508kg-CO2／kWh（テプコカスタマーサービス（A0074）2018 年度実績　調整後係数）

69 期以降 0.351kg-CO2／kWh（関西電力　2020 年度実績　調整後係数）

◆ ２０２４年度(７０期) の主な環境経営計画

１）二酸化炭素排出量（電力削減取り組み）

①照明の LED 化

②冷房設定温度：28℃暖房設定温度：20℃

③不使用時の消灯を励行

④工作機械の新規導入など効率化。長時間使用しない設備の主電源オフを継続励行

⑤ 工場内暖房の効率的運用

２）二酸化炭素排出量（自動車燃料削減取り組み）

①社用車のエコカーへの更新

②エコドライブ、アイドリングストップの実行

３）廃棄物の排出量削減（リサイクル取組）

① 一般廃棄物の分別徹底

② リサイクル推進

③ 裏紙の活用

４）水使用量削減（節水の取組）

①トイレ・手洗い時の節水（定期的なチェック）

②漏水のチェック

③工場での切削時の使用量削減（但し、安全配慮優先で切削油は水溶性に変更）

５）グリーン購入の推進（数値目標は設定なし）

①グリーン購入対応事務用品の調査

②エコ商品カタログの活用

６）化学物質の削減

①トリクロロエチレンの代替完了で新規購入量ゼロを維持

７）生産工程の環境配慮製品に関する取組

①在庫削減

②歩留まり向上

◆２０２４年度運用の結果と評価

目標と実績

2024 年度７０期　（2023 年 11 月～2024 年 10 月）の結果（目標及び達成）

			基準年 (2023 年度)	目　　標	実　　績	達成度 (目標/実績)
二酸化炭素排出量削減		kg-CO2	82,319	81,496	79,500	103% ○
内訳	電力の削減	kWh	205,856	203,797	201,823	101% ○
	ガソリンの削減	L	1,821	1,803	1,796	100% ○
	軽油の削減	L	2,263	2,240	1,742	129% ○
一般廃棄物排出量削減		kg	876	867	786	110% ○
水使用量削減		㎥	214	212	231	92% ×
生産工程の環境配慮		—	在庫削減現状維持	在庫削減現状維持	△33%	○

電力の排出係数:　2023 年度から関西電力 2020 年実績調整後係数 0.351kg-CO_2／kWh
有害化学物質としてトリクロロエチレン等を使用していたが、代替化を完了し購入を廃止した。

（２）取組と評価

①二酸化炭素排出量：目標が達成できた。CO_2 排出量については 69 期から電力会社を関西電力に戻したため、係数が 0.351kg-CO_2/kWh へと大幅に改善された。一方、工作機械３台での加工工程を複合旋盤１台に集約し加工時間を大幅に削減。また、１階作業場の LED 化完了。
自動車燃料は、客先への納品便の廃止で軽油使用量が削減でき目標達成。

②　一般廃棄物排出量：６８期から計量を厳密に実施した。分別の徹底で削減。

③　水使用量：１トイレの自動洗浄センサーの故障で 6 月に急増。修理後通常に戻ったが年間では目標を若干オーバー。

④　グリーン購入については、削減数値目標は立てないが、グリーン製品カタログの中から選ぶなど、環境配慮の事務用品等の購入を意識している。

⑤　有害化学物質の使用量削減取り組みとして、トリクロロエチレンを使用していたが代替化を完了し、購入量をゼロで推移した。今後もトリクロは使用しない予定。

⑥生産工程に関する環境配慮取組：在庫削減により資源の有効活用を図るため、効率の良い生産方式として「セル生産方式」（看板方式）の導入を２０１４年度に完了した。外注業者の廃業により内製化したので在庫は削減できた。

（３）社員の意識高揚

週一回の朝礼で取り組みの状況等を話題に上げることで、環境負荷、地球温暖化に対し理解が深まり意識の高揚が感じられる。今後期待できる。

◆次年度以降の目標

負荷削減の数値目標は原則として前年度実績１％削減をめざし、数値目標の設定を行う。

廃棄物については、実測ベースでの削減目標とする。また、工場から排出される廃材の殆どが「有価物」として売却されているため、一般廃棄物の削減を目標とする。また、排水量の削減は工程での水使用量削減を検討することとし、昨年度実績からの削減を目標にする。

また、グリーン購入については、今後とも、数値目標は立てないが毎月グリーン対象事務用品等を購入していくことに継続して取り組む。化学物質の削減については、従来工場で脱脂に使用していたトリクロロエチレン新規購入量ゼロを今後も目指していく。

環境に配慮した生産工程に関する取り組みとしては、「在庫削減」を目指すが、かなり推進できたので、現状を維持する取り組みとする。

２０２５年度以降の目標値

年間総量		基準年 2024年度:70期	2025年度 71期	2026年度 72期	2027年度 73期
二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	79,500	78,705	77,918	77,139
一般廃棄物排出量削減	kg	786	778	770	762
水使用量削減	m^3	231	229	226	224
生産工程の環境配慮	―	在庫の現状維持	在庫の現状維持	在庫の現状維持	在庫の現状維持

＊購入の排出係数: 関西電力 2020 年実績調整後係数 0.351kg-CO2／kWh (2022.1.7 公表値)

＊年度と期の例は次の通り：2025 年度（71 期）は、2024 年 11 月～2025 年 10 月を示す。

◆２０２５年度(７１期)　主要な環境経営計画の内容

（1）目標を達成するための取組

１）二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

①室内空調、夏は 28℃、冬は 20℃

②不使用時消灯の励行

③新規設備導入による効率化など。

なお、継続して設備不使用時の主電源オフに取り組む。

④工場内冷暖房の効率的運用

⑤社用車のエコカーへの更新。アイドリングストップなど。

２）廃棄物の排出量削減（リサイクル取組）

① 一般廃棄物の分別徹底により、リサイクル推進

② 裏紙の活用

３） 水使用量削減（節水の取組）

① トイレ・手洗い時の節水

② 工場での切削時の使用量削減を検討する。

3） 化学物質の削減

① トリクロロエチレンの代替品の活用により、トリクロの全廃を維持する。

② その他、シンナー等の使用も全廃を維持する。

5）生産工程の環境配慮に関する取組

① セル生産の活用で在庫削減が進み、今後は現状を維持する。

（2）その他の取り組み事項

① 社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。

② 標達成状況の朝礼での報告（月一回）及び進捗状況の掲示。

③ グリーン購入については、毎月グリーン対象事務用品等を購入していく。

◆環境関連法規への遵守状況並びに違反、訴訟等の有無

（1）適用となる主な環境関連法規

主な適用法規等	該当する活動	評価
下水道法	生活排水のみ（日量５０m^3以下）	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正保管 廃棄物の適正処理委託（一廃、産廃） マニフェスト管理、保管、実績報告 特管産廃の処理委託実績なし	○
騒音規制法、振動規制法	コンプレッサー（11kw）H22,10.7　届出済み	○
フロン排出抑制法	業務用エアコン等廃棄時適正処理（廃棄なし） 業務用エアコン及びコンプレッサー付属のエアドライヤの簡易点検の実施・記録および機器廃棄後3年間記録保管。	○
省エネ法	事業活動全般（省エネ努力）	○
使用済自動車の再資源化に関する法律	社用車の廃棄時の適正処理（更新時）	○
家電リサイクル法	テレビ等事業所内使用品の適正処理（廃棄なし）	○
グリーン購入法	コピー紙等グリーン対象事務用品の購入努力	○

（2）違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。また、苦情もありませんでした。

◆代表者による全体評価と見直し・指示の結果

（1）取り組みの評価と今後の課題

「エコアクション２１」の活動を開始してから１３年強経過した。ＥＡ２１の要求事項に従った環境経営システムの構築を進めてきたが、まだまだ環境負荷低減に向かっての活動が定着したとは言えず、今後さらに社員全員への意識の浸透が必要である。

・具体的なテーマで環境経営目標を設定し取り組んできた。
・今後とも効率化により電力量削減等二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
・水量はトイレを節水型に変えたが、今回は設備故障により目標が未達であった。切削液の効率的使用を含めて今後とも節水の意識継続により、水量削減を目指す。
・顧客対応も含め、在庫を現状並みで維持する。

（2）見直しと指示事項

目標値は、今年未達であった項目を含め「前年実績比１％削減」を各テーマに設定することを基本とする。化学物質の使用は全廃。在庫削減は現状を維持する。全社員での取り組みをさらに浸透させること。環境経営方針は据え置くものとする。

（3）　その他変更の必要性の有無

環境経営方針	変更の必要なし
環境経営目標・計画	変更の必要なし
実施体制	変更の必要なし

◆次回の環境経営レポート作成予定

２０２５年１２月